平成23年度
(平成22年度分)

事務事業評価票

A 一般型

No. 1010011

通常評価

I 事業の概要

I-1 事業の概要

事務事業名	KYOTO地球環境の殿堂	所管局部課等	環境政策局地球温暖化対策室
ホームページアドレス	http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-7-0-0-0.html	(連絡先)	222-4555
		(評価票作成者)	「DO YOU KYOTO?」プロジェクト推進担当課長 上田 誠

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性 現状のまま継続	24予算額 (千円)	目標達成度評価 指標: 表彰式の入場者数																															
10,000	10,000		10,000	<table border="1"> <tr> <td>かなり悪い</td> <td>悪い</td> <td>普通</td> <td>良い</td> <td>かなり</td> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>10%</td> <td>20%</td> <td>30%</td> <td>40%</td> <td>50%</td> <td>60%</td> <td>70%</td> <td>80%</td> <td>90%</td> <td>100%</td> <td>110%</td> <td>120%</td> </tr> <tr> <td colspan="13"> </td> </tr> </table>	かなり悪い	悪い	普通	良い	かなり	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	110%	120%													
かなり悪い	悪い	普通	良い	かなり																															
0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%	110%	120%																							
業務運営方法	☐ 直営 ☐ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☒ 全部補助等	委託(補助)先の名称, 委託(補助)の内容 市, 府, 商工会議所, 環境省, 総合地球環境学研究所, 国立京都国際会館で設立した「KYOTO地球環境の殿堂」運営協議会に負担金を支払う。		事務事業の性格 ☐ 義務的事業 ☒ 任意的事業 類型 11 その他																															
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)	「KYOTO地球環境の殿堂」運営協議会会則, 「KYOTO地球環境の殿堂」選考委員会規程, 「KYOTO地球環境の殿堂」運営協議会事務局規程			会計区分 ☒ 一般会計 ☐ 特別会計																															
開始時期	平成 21 年度	終了(予定)時期	平成 年度																																

事業概要	対象	(誰を, 何を) 市民及び府民並びに京都市を訪れる観光客
	活内 動 容	(どのような手段で) 「京都議定書」誕生の地, 京都において, 世界で地球環境の保全に著しく貢献した方々の功績を讃えて顕彰を行い, 地球環境に関するメッセージを京都から広く発信する。具体的には殿堂入り者を選考・決定し, 国立京都国際会館に整備した展示スペースでその功績を称えとともに, 京都議定書が発効された2月16日前後に殿堂入り者を招いた表彰式を開催する。平成22年度から, 自然との共生や持続可能な社会を形成するための新たな価値観や経済・社会の仕組みを国内外に向けて発信する「京都環境文化学術フォーラム」を開催している。
	目 的	(どのような状態にしたいのか) 地球環境の保全に貢献した方々の功績を讃えて顕彰を行う「KYOTO地球環境の殿堂」が, 世界の地球環境保全に関わる研究者の憧れとなるようにする。 また, 世界の国々が初めて温室効果ガスの削減目標に合意した「京都議定書」誕生の地である京都の名が後世に残るようにする。

I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
			①	事業費 (千円)		18,000	10,000
		負担金補助及び交付金		18,000	10,000	10,000	10,000
	①'	委託料					
	②	委託料が事業費に占める割合 (①' ÷ ①) (%)					
	③	人件費 (24年度は見込) (千円)		10,335	6,418	3,804	3,804
		職員(課長級) (人)		0.20	0.15	0.10	0.10
		職員(課長補佐級, 係長級) (人)		0.60	0.30	0.10	0.10
		職員(係員) (人)		0.20	0.20	0.20	0.20
		嘱託職員等人件費 (千円)					
	④	年間経費 (①+③) (千円)		28,335	16,418	13,804	13,804
	⑤	特定財源 (市税等の一般財源以外) (千円)					
		国庫・府支出金 (千円)					
		受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)					
		その他( ) (千円)					
	⑥	京都市年間負担経費 (④-⑤) (千円)		28,335	16,418	13,804	13,804
	⑦	受益者負担率 (受益者負担分÷④) (%)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

II 評価結果

事業名 KYOTO地球環境の殿堂

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	表彰式の入場者数	目標値 …①	人		1,000	1,000	1,000	1,000
		実績値 …②	人		1,000	1,000		
		目標達成度 (②÷①)	%		100.0%	100.0%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価		かなり良い	かなり良い		
指標2		目標値 …①	人					
		実績値 …②	人					
		目標達成度 (②÷①)	%					
	指標の種類		評価					
			総合評価					

指標の選択理由		目標値設定の考え方	
指標1	KYOTO地球環境の殿堂の存在をどれだけの方が知っているか示す指標となる。	KYOTO地球環境の殿堂の開催場所である、国立京都国際会館のメインホールの収容人数をもとに、KYOTO地球環境の殿堂運営協議会が設定した。	
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名	適用年度
指標2			単位
指標変更の有無	☐ 有 ☒ 無	指標名	適用年度
分析	<実績値の変動理由等> 様々な媒体を活用して周知した結果、平成22年度の表彰式の入場者数は、平成21年度と同様の値である国立京都国際会館のメインホールの収容可能人数となった。		

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	表彰者の入場者数			1,000	1,000
	②	年間経費(事業費及び人件費の合計額)	千円		28,335	16,418
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位		28,335	16,418
	④	単位当たり経費変動率				-42.1%
			評価			かなり良くなった
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の経費が減少したため効率性が良くなった。 KYOTO地球環境の殿堂の見学者より入場者数の方が指標として適切であり、平成23年度から指標を入場者数のみとする。					

C 市民参加度	企画段階	☐ 高 ☐ 中 ☒ 低 ☐ 無	<現状分析、今後の方針等> 殿堂入り者の選考等は市民参加は難しいが、実施段階での表彰式やフォーラムについては、市民参加を広く求めている。
	実施段階	☐ 高 ☒ 中 ☐ 低 ☐ 無	
	評価段階	☐ 高 ☐ 中 ☒ 低 ☐ 無	
D 市民満足度	<調査の有無> ☐ 有 ☒ 無 ☐ 該当しない		<調査結果、現状分析等>
	<調査方法>	<調査時期>	
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般		<現状分析、今後の方針等> KYOTO地球環境の殿堂の展示物等に関しては、京都産木材やLED照明を採用するなど、環境に配慮するよう心がけている。

平成23年度の実施状況	第3回殿堂入り者の決定に伴い、平成24年2月11日に京都環境文化学術フォーラムスペシャルセッション、12日にKYOTO地球環境の殿堂表彰式及び京都環境文化学術フォーラムシンポジウムを開催する。

市会・監査・外部機関等からの指摘	

III 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性の理由及び具体的な内容) 全体的な事務事業の効率化を図りつつ、国立京都国際会館におけるチラシの配架やホームページにおける本事業の掲載等により、市民や京都を訪れる観光客をはじめ国内外に広く情報発信を行い、本事業の周知に努めていく。また、平成24年度においては、第4回殿堂入り者を新たに決定するとともに、2月16日(京都議定書発効の日)前後に、殿堂入り者の表彰式と京都環境文化学術フォーラムを同時開催する。